

## 第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会

第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会は次のとおり行なわれることになりました。

詳細のプログラムは例年のとおり会員には別途郵送いたします。

1. 通常総会：5 月 26 日（土） 9.30～12.00 早稲田大学大隈小講堂
2. 総合講演：5 月 26 日（土） 13.30～17.30 同

### 題目および講演者

- |                           |                                       |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 1. 土木教育の現状（工業高校教育をふくむ）    | 京 都 大 学 教 授 工 博 石 原 藤 次 郎             |
| 2. 海外における建設技術協力の現状と将来     | 国 際 建 設 技 術 協 会 理 事 長 柳 沢 米 吉         |
| 3. 明日への土木建設業と土木建設技術者      | 鉄 道 建 設 興 業 K K 常 務 取 締 役 工 博 飯 吉 精 一 |
| 4. 首都高速道路施工概況とその問題点       | 首 都 高 速 道 路 公 団 理 事 工 博 中 島 武         |
| 5. 臨海工業地帯の土地造成について        | 東 亜 港 湾 工 業 K K 取 締 役 社 長 工 博 岡 部 三 郎 |
| 6. 地下鉄とともに 10 年間（施工を主として） | 帝 都 高 速 度 交 通 営 団 理 事 水 谷 当 起         |
| 7. 最近における基礎の諸問題           | 東 京 大 学 教 授 工 博 星 埜 和                 |

3. 懇親パーティー：5 月 26 日（土） 18.00～19.30 早稲田大学大隈会館
4. 年次学術講演会：5 月 27 日（日） 9.00～17.30 早稲田大学各教室
5. 見 学 会：
  - A 班 5 月 28 日（月） 29 日（火）（1泊2日）箱根・バイパス、早雲山—湖尻間ロープウェイ、国鉄新幹線丹那トンネル東口
  - B 班 5 月 28 日（月）（1日）首都高速道路工事現場、都営地下鉄工事現場、国立競技場諸施設の一部
  - C 班 5 月 28 日（月）（〃）東京港防潮堤工事現場、東京ガスKK豊州工場
  - D 班 5 月 28 日（月）（〃）千葉臨海工業地帯、辰巳団地、東京湾フェリー、東京電力KK横須賀火力発電所

## 37 年度論文集第 1 回予約募集について

論文集は 37 年 4 月より毎月発行することになりました。今まで論文集を予約されていた方で 37 年度も引きつぎ論文集を御希望の方、およびまだ予約されない方で希望者がありましたらこの機会にお申込み下さい。

論文集年間予約会費は 600 円（外国会員 U.S. \$4・前回の \$3 は誤り）とし、一回払いで前金を原則といたします。なお論文集予約の申込みは 4 月と 10 月の 2 回、会費は 1 カ年分前納を建前とし、途中から御申込みいただいても予約受付の時期までお待ち願っておりまして御了承下さい。37 年度第 1 回（4 月分）の予約申込締切は 4 月 25 日です。前号挿入の振替用紙がそのまま予約申込書になりますので御利用下さい。

## 第 8 回関東地区学生諸君のための映画会

定例（毎月第 3 土曜日）による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第 8 回関東地区学生諸君のための映画会を下記の通り開催いたしますから多数御来会下さい（入場無料）。

なお、一般会員の御参加も歓迎いたします。

1. 開催日時：1962 年 5 月 19 日（第 3 土曜日）
2. 会 場：土木学会会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園入口）
3. 上映映画：(1) 東洋の旅 2 部 (2) 首都高速道路 (3) 高速道路 (4) 関門トンネル

## 新進コンクリート技術者との交歓会開催について

若いコンクリート技術者の研究概況、抱負その他をうかがう新進コンクリート技術者との交歓会を土木学会通常総会の前日開催したいと存じます。学校、研究所、現場その他各方面からの声などを拝聴し交歓致したいと思っておりますのでふるって御参加下さい。

コンクリート委員会

日 時：1962 年 5 月 25 日（金） 17.30～20.00 場 所：土木学会会議室

会 費：200 円

注：御申込みは別途お送りするプログラムに挿入する総会返信用ハガキを御利用下さい。

## 異形鉄筋に関するシンポジウム開催について

異形鉄筋に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので御参加下さるよう御案内申し上げます。

日 時：1962年 5月 25日(金) 13.30～17.00

場 所：土木学会会議室

- |               |   |                                |
|---------------|---|--------------------------------|
| ① 13.30～13.45 | 異形鉄筋利用の現状について   | 東 大 ○国 分 正、嵐・国 鉄 松 本 嘉 司       |
| ② 13.45～14.00 | 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例示について                            |                                |
|               | 異形鉄筋設計研究小委員会幹事 ○深 谷 俊 明・池 田 康 平・村 田 二 郎・松 崎 彬 磨・宮 崎 昭 二 |                                |
| ③ 14.00～14.15 | コンクリートと異形鉄筋の付着について                                      |                                |
|               | 電力技研 関 慎 吾・永 倉 正・東 大 ○岡 村 甫・電力技研 西 沢 紀 昭                |                                |
| ④ 14.15～14.30 | 異形鉄筋の定着について   | 都立大 村 田 二 郎                    |
| ⑤ 14.30～14.45 | 異形鉄筋コンクリートけたの疲労試験                                       | 国 鉄 河 野 通 之・小 松 原 政 次・小 寺 重 郎  |
| ⑥ 14.45～15.00 | 異形鉄筋の疲労試験   | 国 鉄 富 田 勝 信・○渡 辺 信 一           |
| ⑦ 15.00～15.15 | 異形鉄筋の付着強度   | 国 鉄 三 浦 一 郎・○樋 口 芳 朗・西 郷 勘 次 郎 |
| ⑧ 15.15～15.30 | 冷間ねじり鉄筋に関する 2, 3 の実験                                    | 東大生研 丸 安 隆 和・小 林 一 輔・○武 藤 準 彦  |
| ⑨ 15.30～15.45 | 各種異形鉄筋の付着強度について   | 東大生研 丸 安 隆 和・小 林 一 輔・○伊 藤 利 治  |
| ⑩ 15.45～16.00 | 冷間ねじり鉄筋の疲労試験結果について                                      |                                |
|               | 東大生研 丸 安 隆 和・富士製鉄 吉 谷 豊・東大生研 ○小 林 一 輔                   |                                |
| ⑪ 16.00～16.15 | 曲り試験供試体によるコンクリートの付着強度試験法                                | 小野田セメント 杉 木 六 郎・○河 野 清         |
| ⑫ 16.15～16.30 | 鉄筋用ねじり棒鋼の機械的性質について                                      | 北 大 横 道 英 雄・松 井 司              |
| ⑬ 16.30～16.45 | 各種異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート桁の曲げ実験について                            | 北 大 横 道 英 雄・○藤 田 嘉 夫           |
| ⑭ 16.45～17.00 | 討 論   |                                |

## 第9回海岸工学講演会講演募集

第9回海岸工学講演会は 10月 16, 17 日の両日、東京において開催することになりました。講演御希望の方は次の要領によりふるって御応募下さい。

- 日 程：1962年 10月 16日(火)～17日(水)の両日
- 講演申込期日： " 6月 30日(土)
- 講演原稿締切： " 7月 31日(火)
- 講演原稿：B5判6ページ(原稿用紙 400字詰 35枚、図表、写真をふくむ、図面はトレーシングペーパーに必ずスミ入れし、文字は鉛筆書きにして下さい)以内を厳守して下さい。超過した場合は書き直していただきます。
- 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会第9回海岸工学講演会係

## 第7回水理講演会開催予告

例年年次学術講演会の前日に開催しておりました水理講演会を本年は東京において第9回海岸工学講演会の前日に開催致します。講演希望者はふるって御応募下さい。

- 期 日：1962年 10月 15日(月)
- 課 題：A. モデルエフェクト B. タービュレンス C. コンピューターの水理学への応用
- 講演申込：題目 6月末日、原稿 7月末日 会場、原稿記載要領などの詳細は会誌5月号に掲載します。

## 東北支部行事案内

(仙台市北三番丁 124・東北地方建設局内)

### 昭和 37 年度支部総会

昭和 37 年度東北支部総会を次のとおり開催いたしますので、支部所属会員多数のご出席をお願いします。なお準備の都合もありますのでご参加の方は総会にご出席、懇親会にご出席の有無を 5月 5日までにお知らせ下さい。

#### 記

日 時：1962年 5月 10日(木) 13.00 時  
 場 所：仙台セントラル ホテル・仙台市東四番丁(仙台駅前青葉通)  
 総 会：諸報告、支部役員改選、新旧支部長あいさつ  
 講 演：講師、題目、未定 14～15 時  
 映 画：新幹線建設工事の予定 15～16 時  
 懇親会：5月 10日セントラル ホテル 会費 300 円 16～17 時

## 第1回トンネル工学に関するシンポジウム開催について

土木学会では本年2月よりトンネル工学委員会（委員長 藤井松太郎氏，ほか委員 24名）を設置し，トンネル工学に関しての問題点を研究して行くことになりました。つきましては，この委員会設置第1の行事として，現在問題になっている事項につき，下記によりシンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加下さるようご案内致します。なお，トンネル委員会ではこの種シンポジウムを毎年開催する予定です。

期 日：1962年6月21日（木） 9.30～17.00

会 場：私学会館（千代田区九段4の4）

会 費：300円（テキスト代実費）

定 員：250名

申込期限：1962年5月31日

申込方法：3月号で本号に申込ハガキを添付する旨お知らせしましたが，御申込みは各自住所，氏名，勤務先を明記の上，会費をそえて申込期限内に学会に必着のようお申込下さい（振替口座東京 16828番）。満員の際は期間内でもお断りすることがございますので，あらかじめご了承下さい。

### 講演者および講演題目，講演時間

9.45～10.45	トンネル用鋼アーチ支保工について	国鉄静岡幹線工事局長	工博	坂本	貞雄
10.45～11.45	長大トンネルの地質について	電源開発KK調査役		広田	孝一
11.45～12.45	昼食（休憩）				
12.45～13.45	トンネル事故の実情について	労働省産業安全研究所土木課長		森	宣制
13.45～14.45	高熱トンネルの施工について	関西電力KK建設部次長		丸山	二郎
14.45～15.00	休憩				
15.00～16.00	名古屋高速鉄道シールド工法について	名古屋交通局高速鉄道建設部工事事務所長		高見	敬一
16.00～17.00	最近のトンネルの施工について	KK熊谷組常務取締役		加納	俊二

◎各講演終了後約15分間程度討議を行なう予定です。

### 見学会

上記シンポジウムに次いで下記より見学会を開催いたします。なお，見学の後懇親会を兼ねて討論会を開催する予定です。参加御希望の方はシンポジウム当日会場で受付けますから，奮って御参加下さるよう御案内致します。

期 日：1962年6月22日（金） 13.00～16.00

見学先：国鉄新丹那トンネル

集合地：国鉄米ノ宮駅前 国鉄静岡幹線工事局熱海出張所

会 費：200円

定 員：50名

## 関西支部行事案内

（大阪市東区京橋3丁目70番地 大阪建設会館内）  
電，大阪（941）3651～3 振替口座大阪 82599番

### 関西支部第35回総会

1. 日 時：1962年5月18日（金） 14時30分より
2. 場 所：中央電気倶楽部 大阪市北区堂島中2丁目（市電堂島中町西入る南側）
3. 総 会：14.30～15.10 （1）諸報告 （2）新役員紹介 （3）支部長挨拶
4. 講 演：15.10～16.10  
 題目 阪神高速道路計画について 講師 大阪府土木部長 三宅静太郎
5. 映 画：① 16.10～16.30 建設進む名神高速道路 ② 16.30～16.50 大阪環状線（工事編）
6. 総会懇親会：映画終了後懇親会（開会時刻 17時頃）を催します。参加希望者は勤務先連絡先および氏名を明記の上 懇親会費 300円（送金は振替口座利用）を添えて5月7日（月）までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。

### 付 テキスト領布について

セメント コンクリート（講習会テキスト） 体裁：B5判 135頁 頒価 300円（〒80円）

溶接構造（溶接に関する講習会テキスト） 体裁：B5判 113頁 " 350円（〒70円）

上記テキスト御希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（振替口座利用）へお申込み下さい。

構造物の新しい形式に関する研究発表会論文募集要項  
(NEW IDEA IN BRIDGES AND STRUCTURES)

共催：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会，土木学会，日本学術会議  
上記の問題に関する研究発表会を本年 10 月中旬開催いたしますから多数ご応募下さい。

1. 原稿枚数：学会誌刷上り 4 ページ以内 (400 字詰原稿用紙 24 枚以内・図表・写真をふくむ)
2. 原稿締切日：1962 年 6 月末日
3. 論文応募に関する問合せ先ならびに原稿送付先：日本学術会議事務局—橋梁構造工学研究連絡委員会 (東京都台東区上野公園内電 821-3751)，土木学会，日本建築学会
4. その他：1. 原稿の採否は日本学術会議—橋梁構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。  
2. 研究発表会の開催場所および時期は，本年は大阪で 10 月中旬開催の予定です。

「水理学および水力機械に関する第 1 回アジア会議」会期変更のお知らせ  
(First Asian Conference in Hydraulics and Hydraulics Machines)

さきに会誌 1 月号の会告でお知らせした表記の会議 (インドの Bangalore で開催) の会期が次のように変更になりました。

1. 会期：1963 年 5 月 第 2 週
2. 論文提出期日：概要は 1962 年 10 月まで，本文は，1962 年 12 月まで

地震工学国内シンポジウム (1962 年) 講演募集

土木学会，日本建築学会，地震学会，土質工学会共催の地震工学国内シンポジウムを次の要領で開催致しますから多数ご応募下さい。

I. 開催期日その他

1. 期日：1962 年 11 月 15 日 (木)，16 日 (金)，17 日 (土)
2. 場所：東京
3. シンポジウムの内容：パネル討論および論文発表をもって構成し，パネル討論については特定のテーマについて毎日午後 3 時頃より行ない，テーマは 1) Seismicity と耐震設計 2) Dynamic Design (上部構造および下部構造) を考えています。

II. 発表論文の募集

発表論文の内容，応募の方法，発表論文の体裁，発表論文の取扱い，などについては土木学会誌 46 巻 12 号 (36 年 12 月) 会告欄を御参照の上論文提出希望者は 37 年 6 月 15 日までに邦文約 800 字以内の内容梗概をつけて当学会にお申込み下さい。

第 12 回応用力学連合講演会講演募集

共催：日本学術会議力学研究連絡委員会，応用物理学会，造船協会，土木学会，日本機械学会，日本建築学会，日本航空学会，日本数学会，日本物理学会

幹事学会：土木学会 (東京都新宿区四谷 1 丁目 電 351-5138)  
日本航空学会 (東京都港区芝田村町 1-3 飛行館内 電 591-3261)

日時：1962 年 9 月 6 日 (木)～9 月 8 日 (土)

会場：東京大学工学部第 2 号館

申込要領：講演申込みは 1 入 1 題とし，参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みすること。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。

申込みは B 5 判の用紙に横書で次の事項を記載すること。

- ①講演題目，②概要 200 字以内，③講演部門および項目名 (プログラム編成の都合上「項目 一次記参照」も必ず記載して下さい)，④講演者ならびに連名者 (協力者)・おのおのの氏名 (連名で講演する場合は登壇者に○印をつけること)・勤務先，通信先，学会員資格，生年 (西暦)，スライド (35 mm に限る) の有無

注：講演時間は1題目 15分の予定、映画は設備の関係上使用できません。お申込みの際は付記を御覧下さい。

- 講演部門および項目：(第1部) 項目：弾性学、塑性学、構部力学、材料力学、土の力学等  
 (第2部) 項目：流体力学、空気力学、水力学、水理学、気象学、潤滑等  
 (第3部) 項目：熱、熱力学、熱伝達、燃焼等  
 (第4部) 項目：一般力学、振動、波動、応用数学、自動制御、計算器等

申込期日：6月9日(土) 所属学会必着

論文抄録集：聴講者用のテキストとして、また講演時間の短縮、掛図などの節約をはかるため講演全部の論文抄録集を作ります。講演者は所属学協会または講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。

- ① 論文抄録提出期日           7月7日(土)
- ② 必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は所属学会から講演申込者に送付します。所定以外の用紙に書いたものは受けません。
- ③ 原稿は用紙2枚以内(図表写真をふくめて約2600字)に明瞭に墨書すること。
- ④ 印刷はオフセットによるので写真も入れられます。
- ⑤ 原稿の書き方は用紙とともに送付します。

**付記：日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ**

- 1) 日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の欧文論文集を次の要領で刊行します。ただし刊行の方法は、従来と異なっておりますから、特に下記2)および3)に御注意下さい。
- 2) 欧文論文集に掲載される論文は、論文抄録集の原稿が提出されてから、力学研究連絡委員会から執筆を依頼いたします。
- 3) 上記の欧文論文集の論文原稿は11月30日までに幹事学会あて1500円を添えて御送付下さい。
- 4) 執筆者には欧文論文集1部および別刷50部を贈呈します。
- 5) 執筆要領、用紙などについては、追って力学研究連絡委員会から連絡します。

## IASS シンポジウムについて

### IASS Symposium on Non-Classical Problems

International Association for Shell Structures は1959年設立され、本部はポルトガル国リスボンの国立土木研究所にあって、Dr. Manuel Rocha が会長である。この協会では、毎年シンポジウムを開いているが、次のように1963年のシンポジウムを開く旨連絡があったので、お知らせします。

1. 名 称：IASS Symposium on Non-Classical Shell Problems
2. 場所、年月日：Warsaw, September 2-5 (会議), 5-9 (エキスカージョン), 1963
3. シンポジウムのおもな問題
  - a) シェルの理論および研究の範囲内において：①熱、収縮についての問題、②弾塑性および脆塑性シェルの塑性変形と耐荷力の問題、③弾粘塑性材料よりなるシェルのクリープおよびレラクゼーションに関する問題
  - b) シェルの工学的応用の範囲内において：熱、塑性およびレオロジー的な現象を考慮しなければならない場合におこってくる設計および構造上の問題
4. 参加費：15\$—IASS, RILEM の会員に対して           22\$—それ以外の参加者に対して
5. 論文：①申込 1962年4月30日(数行の説明をつける)           ②概要の提出 1962年6月30日(200字以内)  
          ③論文の提出 1962年12月31日
6. 公用語：すべてのユネスコ公用語、実際には、英、仏語
7. 連絡先：Secretariat: IASS Symposium, Wspólna 32/46, P.O. Box 155, Warsaw 1, POLAND

なお、名古屋大学工学部土木工学教室 成岡昌夫教授の手元に上記シンポジウムの組織委員会から Bul. No. 1 がおくられてきているので、関心をもっていらっしゃる方はご連絡下さい。予備登録表がついております。

お詫び：47巻3号会告に誤りがありましたので、次のように訂正致します。

ページ	行	誤	正
1	26	(外国会員 U.S. \$3)	(外国会員 U.S. \$4)
3	11	学生員 1200円	学生員 900円